

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2009. 7. 15

1・2年生用

まだ1～2年続きそうな 厳しい就職戦線！



昨年の秋口からの世界的大不況の影響で、今年の3年生の就職戦線はかつて無い厳しい状況にあります。百年に一度の大不況といわれていますが、皆さんにはあまりその実感がないかもしれません。しかし今年の求人がスタートして以来厳しい現実に唖然とすると同時に、今後強い不安を感じているのも事実です。下の表を見るとその厳しさの一端が分かるかと思えます。いずれのデータでも昨年の半分以下の求人状況です。

6/19 現在 伊那管内求人状況(伊那職安データ)

	求人企業数	求人者数	就職希望者数
昨年度	100社	293人	362人
本年度	42社	107人	343人

7/14 現在 伊那管内求人本校受付分

18年	19年	20年	本年
68社	78社	67社	31社

求人企業が少ないだけでなく、各企業の求人数も大幅に減りこれまでにない水準です。この状況ではとても9月の第1次の就職試験には、半分近い生徒が受験する企業がない状況となりかねません。場合によれば卒業するまでに少なからぬ生徒の進路が決まらない可能性が高いように思われます。

来年の秋頃までは世界経済が上向いてこないのではとも言われていますが、中にはここ数年は以前の水準に戻れないという厳しい見方をしているエコノミストもいます。1, 2年生の皆さんにとってはまだ人ごとという思いでいるでしょうが、皆さんが3年次になったときどれだけ景気が回復しているかまだ予断が許されない状況にあることを肝に銘じて欲しいと思います。

企業では景気の悪いときは少しでも即戦力となる工業科の生徒を望むところも多くなっており、特に普通科の生徒達にとってしばらくは厳しい時代にあることも自覚する必要があります。その意味でも今後の進路をどうするか、今からじっくり検討して欲しいものです。場合によれば就職から進学へ切り替えることも検討して欲しいと思います。

就職活動はもとより本校内だけの競争ではありません。他校の生徒との競争になればそれだけ**特徴のある生徒でない**と勝ち残れなくなる可能性があります。企業にとってはちょう買い手市場であり、厳しい「選別」が確実に行われます。クラブや生徒会活動で頑張った者、資格を持つ者等何かに打ち込んだり、元気で明るくコミュニケーション能力のある生徒は良いが、学力もなく**特徴のない中途半端な生徒は企業ではいない**といわれかねません。もう一度自分の生活を見直し、充実した高校生活を心がけましょう。



夏休みオープンキャンパス等に参加しよう

進学希望の生徒は3年になってから受験したい学校を決めるというのではなく、この夏休みに各学校で行われているオープンキャンパス等に参加して、少しずつ自分の将来の進路について考えてみましょう。学校の情報は進路室へ来てても良いですし自分でインターネット等で調べたりしましょう。これまでの先輩達も何人かは2年生くらいから、そうした取組をしています。